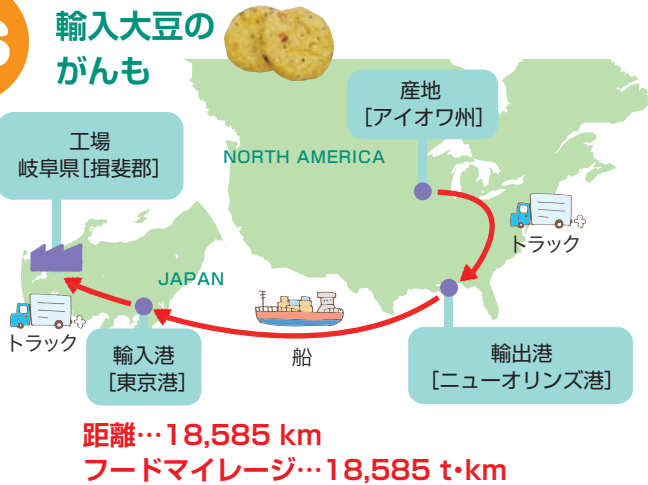


フードマイレージを比べてみましょう

大豆で比較！

VS

輸入大豆の
がんも



巻頭
特集

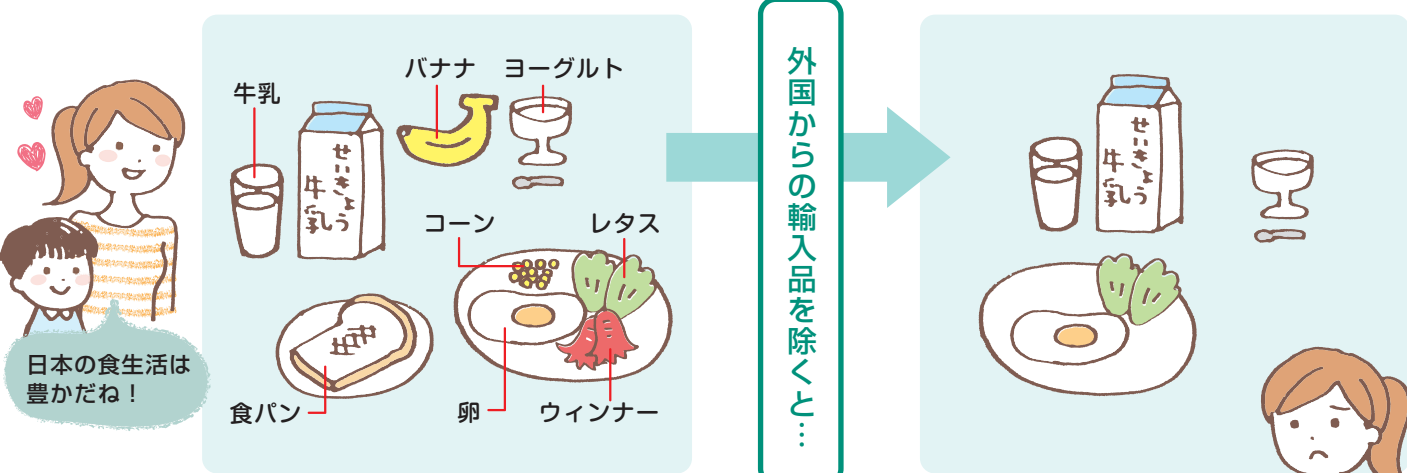
食と環境について考えよう

今日食べたものはどこからきたの？

フードマイレージってなに??

あなたは普段、食品を選ぶとき何を基準にしていますか？食品の産地を考えることは、鮮度や安全性だけでなく、CO₂の削減にもつながることをご存知でしょうか。その指標になるものが「フードマイレージ」です。今回は「えこちゃんくらぶ」のみなさんに、フードマイレージについて教えていただきました。毎日のお買いものを、改めて「食品の産地」という視点から考えてみませんか？

あなたは今日の朝ご飯に何を食べましたか？



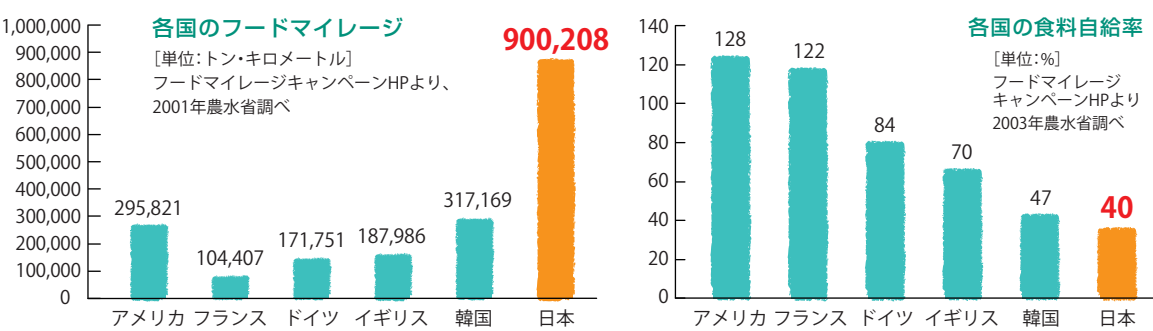
日本の食料自給率は40%、60%は外国からの輸入に頼っています。食品の輸送には、船や飛行機、トラックなどが使用され、その際にCO₂が発生します。食品を輸送するときにかかる環境負荷を考える指標となるのがフードマイレージです。

ほとんど食べる物が無くなっちゃうね。

$$\text{食料の輸入量 (t)} \times \text{輸送距離 (km)} = \text{フードマイレージ (t·km)}$$

輸送距離が長いほどCO₂の排出量が多い = フードマイレージがより高いということね

日本のフードマイレージはどうなっているの？



日本のフードマイレージが高いワケは？

- ① 食料自給率が低い
- ② 島国なので、輸送距離が長い（飛行機や船で輸送）
- ③ 食生活が欧米化してきている（ご飯 < パン）

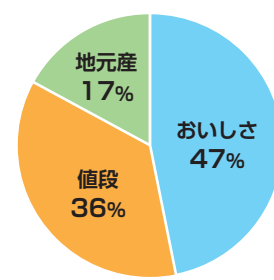
フードマイレージは世界で一番高いんだ！

えこちゃんくらぶに
聞く

フードマイレージを減らすには？

① 食品を買う時のポイントにフードマイレージをプラスしよう！

あなたが食品を選ぶポイントは？



組合員さんアンケートによると、食品選びのポイントは1位「おいしさ」2位「値段」3位「地元産」という結果に。便利さと安さを追い求めるため、日本でもとれる食品を、わざわざ地球の裏側から運んでくることも。その輸送には、大量のCO₂が排出されています。もしかすると、わたしたちも、「安い」食品を手に入れるのと引き換えに、必要以上に環境に負荷をかけているのかも。農作物をつくるには、様々なエネルギーが使われるので、フードマイレージ=食品に関わる全ての環境負荷ではありませんが、意識することで、環境にも配慮した買い物ができますね。

フードマイレージワークショップ

飛騨支所では、えこちゃんくらぶが先生になって「フードマイレージってなあに？」を行いました。



ご飯を食べるときに、ちょっと意識して食べるようにしたいです。

買い物に行ったときは気にしてみます。

チラシを見ながら、私たちが食べているものがどこから来ているか調べてみましょう。国産？外国産？国産でも、それは近いかな？遠いかな？外国産なら、どのくらいの移動距離があるのかな？地図に書くと、もっとよくわかるね。

② できるだけ地元の食品を食べよう！

地元産の食品を買うことで、フードマイレージを減らすことができます。CO₂の削減になるのはもちろん、新鮮でおいしい食品が食べられます。

地産地消で
こんないいこと

- ① 新鮮だからおいしい
- ② 作っている人の顔がわかりやすい
- ③ CO₂の排出削減=環境に優しい

What's
えこちゃん
くらぶ？

「えこちゃんくらぶ」は、子どもたちが地球にやさしくし方や、環境について興味や関心を持ち、身近な暮らしの中で気づき、学び、実践していくクラブです。